

松山市で講演会 「スマホ時代の大人が知っておきたいこと」を開催 《あんしんネット 冬休み・新学期一斉緊急行動イベント》



講演に聴き入る参加の皆さん



兵庫県立大学
竹内 和雄 准教授

四国総合通信局(局長:吉武 久)は、愛媛県青少年安心・安全ネット利用促進連絡会※との共催で、平成30年1月24日(水)に愛媛県松山市で「スマホ時代の大人が知っておきたいこと」と題して講演会を開催し、子供にとってもスマホが身近になった時代に大人が知っておくべきトラブルやその防止策について解説しました。

出席者60名のうち、保護者や教育関係者の方々が4割以上を占め、松山市内の小中学校のPTA や教員、愛媛県教育委員会の方々に加え、高知県教育委員会からも参加があり、関心の高さを示すものとなりました。

講師には、生徒指導をご専門とし、ネット問題、いじめ等を研究されている兵庫県立大学環境人間学部 准教授 竹内 和雄氏をお招きしました。

竹内准教授は、ツイッターや動画実況中継、出会い系サイトなどを紹介し、若者たちを狙う犯罪やグループ外しによるいじめなどにつながる青少年のインターネットの利用実態を親や教師らが把握できていない現状などについて説明しました。

また、スマホと会場の大型スクリーンをつなぎ、動画共有アプリで「松山市」と検索すると市内の少女の投稿とみられる動画がヒットし、参加者からは驚きの声が上がりました。

「スマホの問題は心の問題。現実がしんどい子供はスマホに逃げていく。」と強調し、フィルタリング機能などに頼るだけではなく、日頃から子供たちと会話し、様子に気を配ることが大切であること。身近に相談できる大人の存在が重要であることなどを話しました。

参加者からは、「青少年のスマホ利用の現状について自分の認識とのギャップにショックを受けました。」「ちょっと笑いもあり楽しく聞けました。早く帰って子どもたちとスマホのルールを決めたいと思います。」といった意見が寄せられました。

総務省では例年2月から5月にかけて、「春のあんしんネット・新学期一斉行動」としてフィルタリングの利用推進や青少年・保護者等のリテラシーの向上に向けた取組を集中的に行っていましたが、今シーズンは、神奈川県座間市で起きた痛ましい事件を踏まえ、スタートを昨年12月に前倒して「あんしんネット 冬休み・新学期一斉緊急行動」として取り組んでおります。

四国総合通信局では、本講演会のほか、2月26日には、愛媛県消費生活センターによる相談員研修会に職員を派遣、インターネットトラブル事例やその対応策について講義します。3月12日には、JR 高知駅でのスマホの安心安全な利用のためのパンフレット「今、保護者ができること」の配布やネットの危険から身を守るフィルタリングの活用や家庭でのルール作りについて呼びかけも行います。

今後も、連絡会に参加する団体や消費者センターと協働して、各種の講演会・セミナーの開催、大学での公開講座や研修への職員の派遣などを通じて、青少年の皆さんが安心・安全にインターネットを利用できる環境の醸成に努めます。

(主催) 四国総合通信局、愛媛県青少年安心・安全ネット利用促進連絡会
(後援) 愛媛県警察本部、松山市教育委員会、松山市小中学校 PTA 連合会

(共催) 四国情報通信懇談会

※愛媛県青少年安心・安全ネット利用促進連絡会(事務局:四国総合通信局)

愛媛県の警察、教育関係者、PTA 団体、消費者団体、有識者、電気通信事業者等で構成。青少年が安心・安全にインターネットを利用できる環境を整備することを目的に、構成員間の情報共有や青少年・保護者等を対象としたリテラシー向上のための普及啓発活動を行っています。

(お問い合わせ先) 情報通信部 電気通信事業課 089-936-5042